

だれでも
新しく生まれなければ



はじめに

「百貨店主と呼ばれたジョン・ワナメーカーはあるとき、伝道者ビリー・サンデーを案内して、自分の所有する大きな百貨店を見せ、こう言いました。『この店の中のものならば、何でもお好みにしたがって差し上げます』。しかしビリー・サンデーの求めたものは、『この世界最大のデパートの所有者の友情』でした。

今、多くの人々がモノを求めて、この世界にモノよりも尊いものがあることを忘れていきます。この世界を所有し、人を愛しておられる神の友情は人間の求め得る最高のものです。

あなたの選択は、あなたの生涯を決定するばかりでなく、家庭の幸福、社会の将来、国家の運命を決定するものとなります。今日、私たちの生活をきよめ、社会を救うのはイエス・キリストの福音よ

り他はありません。この救いの福音こそ、今日の全世界にあるすべての問題に対して完全な解決を与えるものです。たとえ困難があるようにみえても、神に従う道は喜びに満ちたものであり、その彼方には永遠の希望と神の栄光が輝いています」
(山形俊夫)。

この通信講座は、キリスト教の背景のない人々のために山形俊夫博士によって著されたキリスト教入門書『真理への道』(福音社)を通信講座用に編集したものです。1952年(昭和27年)に発行された名著が65年ぶりに通信講座となつてよみがえりました。この通信講座を学ぶ皆様、イエス・キリストにある恵みと救いの福音に触れることができるようにお祈りいたします。

この講座を勉強する方へ

- ・もしお持ちであれば、聖書を手元に置いて学びをはじめてください。
- ・最初に本編をお読みください。
- ・設問用紙は真ん中のページにあります。ホッチキスを外すか、コピーしてください。
- ・設問用紙に答えを記入し、郵送・FAXなどでご返送ください。
- ・添削した設問用紙と次のテキストをお送りします。
- ・その他、具体的なことは、担当者にお問い合わせください。



だれでも新しく生まれなければ



イエスが宣教を開始されて間もない頃、ニコデモという、ユダヤの国民のうちで高い地位を占めていた老教師が、イエスのもとを訪れました。彼は高い教育を受け、すぐれた才能に恵まれた人でした。ニコデモは、イエスの働きを聞き、また見ていました。また救い主^{ぬし}についての預言を熱心に研究するにつれて、イエスこそ来たるべきメシヤ（救い主）であろうという確信が次第に強められていました。そこで、どうしてもイエスに直接会って、話したいと思ったのです。しかしユダヤ人の指導者としての自分の地位を考えると、まだあまり名も知られていない若い教師を公然と訪ねることは、はばかられました。そこで彼は、夜、イエスのもとを訪れたのです。

ヨハネによる福音書3章にその

会見の様子が記されています。ニコデモが「先生、わたしたちはあなたが神からこられた教師であることを知っています。神がご一緒でないなら、あなたがなさっておられるようなしるしは、だれにもできはしません」と言ったとき、イエスは「よくよくあなたに言うておく。だれでも新しく生れなければ、神の国を見ることはできない」と言われました（ヨハネによる福音書3章2、3節）。

ここに展開された問題は、キリスト教の根本問題の一つでした。「だれでも新しく生まれなければ」。ニコデモはイエスと問答しようと思つてやってきましたが、イエスは、必要なものは理論や知識ではなく、生まれかわりの体験であると言われたのです。

今日も多くのニコデモがいます。

抽象的な理論として、キリスト教を求めている人々です。しかしキリスト教は、抽象的な人生哲学ではありません。単なる修養でもありません。人間に生まれかわりを与え、救いを与えるのです。

ニコデモには、高い教養と知識、社会的地位と富とがありました。彼は立派な道徳家でした。しかし、それだけでは十分でなかったのです。それだけでは、神の国を見ることはできないのです。

教育が普及し、知識が進歩しても、それだけでは、神の国のことはわからないし、神の国に入ることもできないのです。

新たに生まれるということは回心ともいわれますが、クリスチャンとなるために、ぜひ持たなければならぬ経験です。キリスト教は単なる信条や教理、あるいは宗

教的儀式以上のものです。罪にむしばまれた人間の本来の姿は醜悪なものです。この人間性が、神に立ち帰る過程を「新生」といいます。これは人間のうちに起こる根本的な変革なのです。そしてこのような変化は、神の力が働かなければ起こり得ないものであり、また神の力に助けられて人が決意しなければならぬのです。

新たに生まれるという経験の中には、いくつかの段階が含まれています。

第一は罪を認めることです。罪を認めないものに悔い改めは起こり得ません。そして人は、この罪を生まれながらに知っていると限定しないのです。パウロは、「律法によらなければ、わたしは罪を知らなかったであろう。すなわち、もし律法が『むさぼるな』と言わ

なかったら、わたしはむさぼりなるものを知らなかったであろう」（ローマ人への手紙7章7節）と言っています。もちろん、外面にあらわれてくる大きな罪はわかるでしょうが、だれも知らない心中の罪は、神の光に照らされなければわからないのです。「わたしの内に、すなわち、わたしの肉の内には、善なるものが宿っていないことを、わたしは知っている」（ローマ人への手紙7章18節）と言ったパウロは、少なくとも外面的には、立派な学者であり、道徳家であり、人々の尊敬と信頼を勝ち得ていたのです。しかし神の光に照らされたとき、彼は外面だけの生活に満足できなくなりました。意識していてもしていなくても、神にさからっているという事実が、人間の心から平安を奪うのです。喜びを取り去ってしまうのです。

私って、「^{つみびと}罪人」ですか？

教会に来て、多くの人がとまどうことの一つに、「人はみな罪人である」という表現があります。

「私は法に触れるような犯罪に手を染めたことはありません」と、ほとんどの人は思われるかもしれませんが。

新約聖書の原語であるギリシア語では、罪のことを「ハマルティア」（的外れ）といいます。この語は、創造主である神のことです。宇宙をつくり、地球をつくり、そして私たちをつくられた創造主から離れている状態を指しています。神に背を向けるだけではなく、神の存在さえ知らない、その状態を聖書では「罪」というのです。

罪人である証拠

また聖書には、罪とは法を犯すことであるとも書かれています（ヨハネの第一の手紙3章4節参照）。神はモーセを通して私たちに十戒じっかいを与えられました。それがまさしく私たちにとつての「法」でもあるのです。さらにキリストは、心の中で人を裁いたり、悪口を言ったり、異性を情欲の思いで見ること、**「殺してはならない」「姦淫**

してはならない」という法に反するのだと教えられました。

このように心の中の思いまでがその基準としてはかられるとしたら、「私は罪を犯していない」とだれが言えるでしょうか。

さらに聖書には、「罪の支払う報酬は死である」（ローマ人への手紙6章23節）とあります。罪は死によって償うしかないほど、汚れたものと教えているのです。

神の約束

しかし、希望があります！ ローマ人への手紙3章24節には、「彼らは、価なしに、神の恵みにより、キリスト・イエスによるあがないによって義とされるのである」と書かれています。自分の力では、この罪の状態から抜け出すことはできませんが、キリストが十字架におかかりになり、私たちの身代わりとして永遠の刑罰を受けてくださったことによって、私たちは罪がゆるされるのです。これが、神の私たちに對するすばらしい約束です。

新たな生活に入るには、まず罪を認めなければなりません。

次に罪を悲しむ心が起こらなければなりません。ここで注意しなければならぬことは、罪の結果を悲しんで、罪そのものを悲しんでいない場合が多くあることです。「悪かった」というときに、罪を犯した自分自身のみにくさに涙するのではなく、その罪のためにいろいろな悪い結果を刈り取らなければならぬことを恐れて、悲しむ場合があります。本当の悔い改めに至るためには、罪を認め、罪を憎み、罪を悲しみ、義を慕う心が起こってこなければなりません。そのとき、罪から離れようとの決心が与えられるのです。

罪を認めたとき、それがゆるされるためには一つの条件があります。ヨハネの第一の手紙1章9節

に、「もし、わたしたちが自分の罪を告白するならば、神は真実で正しいかたであるから、その罪をゆるし、すべての不義からわたしたちをきよめて下さる」と書かれています。

すなわち、罪を認めてこれを告白することです。これには勇氣がいます。また、謙遜でなければなりません。すべての罪の告白は、神に対して行わなければなりません。しかし、もし人に対して罪を犯した場合は、神に対してだけでなく、その人に対しても告白し、ゆるしを求めなければなりません。

ある人々は、魂の秘密を知る権利のない人々に罪の告白をするところがありますが、これは誤りです。公に知られた罪は、公に告白しなければなりません。ある人々だけにしか知られていない罪は、その人々にだけ告白すればよいので

す。この点、特に健全な常識が必要です。また告白とともに罪に対する償いをできるだけしなければなりません。

ここまできて、イエスの十字架のゆえに、すべての罪がゆるされるのです。どんなにひどい罪でもゆるされるのです。ここで大切なことは、神を信じ、その約束に頼ることです。神の言葉を信じ、十字架の事実を見上げて、わたしの罪はゆるされたという確信を握ることです。神は真実な方です。

「もし、わたしたちが自分の罪を告白するならば、神は真実で正しいかたであるから、その罪をゆるし、すべての不義からわたしたちをきよめて下さる」(ヨハネの第一の手紙1章9節)という神の約束に信頼してよいのです。

あるいはあなたは、「少しも罪がゆるされたように感じない」と

【設問用紙の送り方】

- ・設問用紙に解答、名前、性別、住所など必要事項を明記の上、設問用紙のホッチキスを外すか、コピーやスキャンなどをしてご返送ください。

※郵便で送る場合

- ・市販の封筒、またはテキストに同封して送られてくる返信封筒で、次の宛先までお送りください。

〒 241-8501 横浜市旭区上川井町 846
VOP バイブルスクール 行

1 課ずつではなく、一緒に送られてきた複数課の設問用紙をまとめてお送りいただいで結構です。

※ FAX で送る場合

- ・郵送同様、必要事項をご記入の上、解答面を間違わないように次の番号まで送信してください。

FAX 番号：045-921-2319

- ・設問用紙に、名前などの必要事項を明記いただければ、別紙（FAX 送付状）をつけていただく必要はありません。

※ E メールで送る場合

- ・解答面をスキャンするなどして、PDF または JPEG データでお送りください。内容が読み取れるか送信前にご確認ください。件名に「真理への道答案」と必ず明記してください。

アドレス：info@vopjapan.net

送信後、担当者から受信メールをお送りします。休日を除き72時間以内にメールが来ない場合は、受信できていない可能性がありますので、ご確認ください。

- ★どの方法で解答を返送していただいても、添削した設問用紙と次のテキストは郵送いたします。

ご意見、ご感想をお聞かせください。

フリガナ お名前	登録番号
ご住所 〒 電話番号 ()	

第9課

VOPバイブルスクール 真理への道講座・設問用紙

質問1 イエスがニコデモに「新しく生まれなければならない」と言われた言葉は、キリスト教についてどういうことを教えていますか。

- キリスト教は一つの人生哲学である
- キリスト教はすぐれた修養の教えである
- キリスト教は生まれ変わりを与え、救いを与えるものである

質問2 本当の悔い改めに至るためには、何が必要でしょうか。

- 罪を認め、罪の結果を恐れて悲しむ
- 罪を認め、罰を受ける
- 罪を認め、罪を憎み、罪を悲しみ、義を慕う心が起こる

質問3 自分の罪を告白するならば、神は私たちの罪をゆるし、きよめてくださるという約束は、どこに書かれていますか。

- ヨハネの第一の手紙1章9節
- ローマ人への手紙7章18節
- ローマ人への手紙1章16節

質問4 キリストによって罪がゆるされ、新しく生まれた人は、どうなると思いますか。

- 意識しなくても悪いことをしなくなる
- 神から与えられた力で罪に勝利できる
- 努力すれば罪を犯さなくなる

9

思われるかもしれませんが。しかし信仰は感情を土台とするものでなく、歴史的事実の上におかれた神の約束を、その通りに受けとることにあるのです。

回心の体験の最後の段階は、罪から離れることです。大きな罪を犯した女に、イエスは、「わたしもあなたを罰しない。お帰りなさい。今後はもう罪を犯さないように」(ヨハネによる福音書8章11節)と言われました。

福音の目的は、ただ罪をゆるすばかりでなく、ふたたび罪を犯さないような力を与えることです。罪に勝利していく力を与えることです。パウロは、「わたしは福音を恥としない。それは、ユダヤ人をはじめ、ギリシヤ人にも、すべて信じる者に、救^{すけ}を得させる神の力である」(ローマ人への手紙1

章16節)と記しました。

新しい生活に入るために、私たちに力が必要です。悪い習慣を改め、心の純潔を保ち、愛の奉仕をしていくための力です。人間の努力だけではできません。神の福音はこの力を与えます。神の力に支えられて新しい生涯に入ります。

どうしてそういうことが起こるかという疑問があるかもしれませんが、ニコデモも、「どうして、そんなことがあり得ましようか」(ヨハネによる福音書3章9節)と言いました。

しかし聖霊が働くときに、これが事実として体験されるのです。これは議論以上の世界です。

ウェスレーの回心は英国史を変えたとも言われます。人の心に起こるこの大きな変革は個人の生活

を新しいものにし、家庭の生活に豊かなるおいを与え、社会をきよめていくのです。

無神論者に挑戦されたある牧師が、公開討論に応じるにあたって次の提案をしました。

「私はキリストによって人生の目的を見いだし、喜びと平安を味わい、新しい生活に入り得た10人の証人を連れていくから、あなたも無神論によって人生の意義と希望を見いだし、新生涯に入った証人を連れてきてほしい」

しかし無神論者はこれに応じることができなかつたということなのです。

謙虚に真理を求める人々に、キリストの言葉が新生の体験を与えてきた事実、だれも否定し得ないのです。

新しく生まれた人々には、新し

い世界が見えてきます。現実の、目に見える世界をこえた実在の世界をつかみ、霊の世界の深い真理を悟ることができるのです。

「だれでも新しく生まれなければ」。ここに希望の黎明れいめいがあります。

瞑想のことば

悔い改めとは、罪を悲しむことと罪を離れることを含みます。人は、罪の恐ろしさを知るまでは罪を捨てません。心の中でまったく罪から離れなければ、生活に本当の変化は起こらないのです。

悔い改めの意味を本当にわかっていない人がたくさんいます。罪を犯したことを嘆き、外面的には改める人もいますが、それはその悪事のために苦しみに遭わなければならないことを恐れるからです。しかし、これは聖書に教えられている悔い改めではありません。彼らは罪そのものよりも、むしろ罪から来る苦しみを悲しむのです。

けれども、人の心が神の霊の感化に服従するならば、良心は呼びさまされ、罪人は、神の聖い掟きよ おきてがいかに深く、また聖なるものであるかを悟り、これこそ天地を治めておいでになる神の政治の基礎であるとするようになるのです。「その光は、まことの光で、世に来てすべての人を照らすのである」（ヨハネによる福音書1章9節）とあります。その光に心の奥底を照らされ、また暗闇に隠れた事柄を照らし出されて、心も、魂も、自分は罪のある者だという思いでいっぱいになります。そして、エホバの正しさを実感し、また人の心を探られる神の前に、罪と汚れのまま立つことを恐れます。こうして神の愛、聖潔の美、純潔の喜びを認め、自分も清められて天との交わりに立ち帰りたいと切望するようになるのです。

続きは、『キリストへの道』（改訂第3版、エレン・ホワイト著、福音社）、
「キリストの必要」の章をお読みください。

瞑想のことば

このような悔い改めは、自分の力ではとてもできません。これは、天に昇って人類に聖霊の賜物を与えてくださるキリストによるほかないのです。

ところが、ここで考え違いをして、せっかくキリストが与えようとしておられる助けを受けない人がたくさんいます。つまり彼らは、まず悔い改めなければキリストに近づけない、悔い改めは罪のゆるしを受ける準備である、と思っているのです。もちろん悔いせずおれた心だけが救い主の必要を感じるのですから、悔い改めが罪のゆるしに先立つのは当然です。では、罪人は悔い改めるまではイエスのもとに行けないのでしょうか。悔い改めが罪人と救い主との間の障害物となってよいものでしょうか。

「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう」（マタイによる福音書 11 章 28 節）というキリストの招待は、罪を悔い改めなければ受けることができないと、聖書は教えていません。罪人が真に悔い改めるようになるのは、キリストから出る力によるのです。ペトロはこの点をはっきり述べて、「神はイスラエルを悔い改めさせ、その罪を赦すために、この方を導き手とし、救い主として、御自分の右に上げられました」（使徒言行録 5 章 31 節）とイスラエル人に言っています。私たちは、キリストなくしてはゆるしが与えられないように、キリストの霊が良心を呼びさまさなければ、悔い改めることができないのです。

キリストはすべての正しい動機の源であって、彼だけが人の心のうちに罪を憎む心を植えつけることがおできになります。真理や純潔を求め、自分の罪深さを認めることなどはみな、キリストの霊が私たちの心に働いている証拠です。

続きは、『キリストへの道』（改訂第 3 版、エレン・ホワイト著、福音社）、
「キリストの必要」の章をお読みください。



聖書の視点で歴史を見直すとき、
今をどう生きるかを学び、
明日への希望を見いだします。

明日への希望

エレン・G・ホワイト著

A5判／1,984頁

収録されている本——人類のあけぼの(上・下)、国と指導者(上・下)、
各時代の希望(上・中・下)、患難から栄光へ(上・下)、各時代の大争闘
(上・下)、キリストの実物教訓、キリストへの道、祝福の山。



キリストへの道(改訂第3版文庫判)

エレン・G・ホワイト著

文庫判／184頁

手軽に読めます！

各時代の希望

エレン・G・ホワイト著

3巻セット

文庫判／上巻496頁、中巻512頁、下巻504頁



聖書のことは、

わたしたちを励まし、助け、希望へと導く宝です

みことば手帳

手帳サイズ(横91mm×縦156mm)／192頁



みことば手帳2 全員参加伝道編

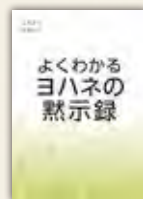
手帳サイズ(横91mm×縦156mm)／176頁

聖書を直接学ぼう！

よくわかるヨハネの黙示録

金棋坤著 柳鐘鉉訳

A5判／200頁



発行：福音社

福音社のオンラインショップ <https://www.fukuinsha.com>

表紙写真MaCC/PIXTA

VOPバイブルスクール 真理への道講座
第9課 だれでも新しく生まれなければ

2017年12月15日 初版第1刷発行 2022年7月15日 初版第3刷発行

〒241-8501 横浜市旭区上川井町846 045-921-1416(電話) 045-921-2319(Fax)

本書を無断で複写、複製、転載することを禁じます。

本書は、『真理への道』(山形俊夫著、福音社、1962年発行改訂版)を底本として、聖書通信講座用に編集しました。
本文中の聖句で特記していない箇所は日本聖書協会発行『口語訳聖書』を使用しています。

1000P

真理への道講座

- 第 1 課 人生の謎
- 第 2 課 目に見えない世界
- 第 3 課 解決の鍵、聖書
- 第 4 課 世界と生命の起源
- 第 5 課 神
- 第 6 課 人生を暗くするもの
- 第 7 課 イエスの生涯
- 第 8 課 放蕩息子
- 第 9 課 **だれでも新しく生まれなければ**
- 第 10 課 足りない一つのもの
- 第 11 課 人生の苦難
- 第 12 課 主にゆだねた生活
- 第 13 課 聖書の歴史観
- 第 14 課 世界の将来
- 第 15 課 終末は近いか
- 第 16 課 安息日
- 第 17 課 死の彼方
- 第 18 課 使命を持つ教会